

1 確かな学力の育成

子どもが、自ら問いや目標を持ち、自ら考え、判断・行動し、その結果や過程を振り返るという学びを通して、自分らしい生き方につなげていくことができる資質・能力等の育成を図ります。

- 子どもを主体とした学びの推進に向けた授業改善
- 学校のICT環境整備、教育データの活用
- キャリア教育の推進
- 英語教育の推進
- 市立高校の特色ある教育の推進

2 豊かな心の育成

道徳教育や様々な体験活動など学校教育活動全体を通して、児童生徒の豊かな情操や道徳心を培い、自己や他者を理解し、他者への思いやり、自己肯定感、社会性などを育みます。

- 道徳教育の推進
- 人権教育の推進
- 豊かな体験活動
- 読書活動の推進
- 情報モラル教育の推進
- いじめの未然防止・早期対応

3 健やかな体の育成

児童生徒が自ら運動やスポーツに親しむことを通して、体力の向上を推進するとともに、生活習慣の確立や学校保健の推進等により、心身の健康の増進に取り組み、健やかな体の育成を図ります。

- 体力向上の推進
- 水泳授業の充実
- 喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育
- プレコンセプションケアの視点を取り入れた指導
- 食育の推進

4 多様な教育ニーズへの対応と社会的包摂

児童生徒一人ひとりのニーズを的確に把握し、社会的包摂の観点も踏まえ、個々の状況に応じた適切な支援に取り組むことにより、多様な教育ニーズに対応しながら、一人ひとりの能力を伸ばし、可能性を引き出す教育を推進します。

- 教育相談・支援体制の充実
- 不登校児童生徒の支援
- 特別支援教育の推進
- 日本語指導の充実

5 教員の確保及び資質・能力の向上

資質と意欲のある人材の採用や、教員が学び続けることができる環境づくりを推進することにより、教育に対する使命感や情熱等を持った教員を確保するとともに、教育の専門家としての資質・能力の向上を図ります。

- 実践力のある教員の確保に向けた取組み
- 資質・能力の向上に向けた研修の充実
- メンタルヘルス対策に向けた取組み
- コンプライアンス推進に向けた取組み

6 教員が子どもと向き合い、チームとして対応できる環境づくり

教育は、教員が子どもたちとの触れ合いの中で一人ひとりの可能性を引き出し、成長を促す営みであるため、働き方改革や「チーム学校」の推進等を通して、教員が自己を高めながら生き生きと子どもと向き合うことができる環境づくりを推進します。

- 働き方改革の推進
- 学校のマネジメント体制の強化
- チーム学校の推進

7 安全・安心に学ぶことができる環境の整備

学校施設をはじめとした教育環境の向上や、関係機関等と連携した児童生徒の安全を確保する取組みなどにより、子どもたちが安全に安心して学ぶことができる環境の整備を推進します。

- 学校施設の計画的な改修・建替え等
- 学校規模適正化の推進
- 児童生徒の安全確保

8 学校と家庭・地域等の連携強化及び家庭・地域等における教育の支援

子どもたちは、家庭や地域の中で様々な体験や人との関わりを通して成長していくものであり、学校と家庭・地域等との連携強化を図るとともに、家庭教育や地域における学習活動の支援等に取り組み、学校や家庭を取り巻く環境が変化している中でも、地域全体で子どもたちの学びを支える持続可能な環境づくりを推進します。

- 家庭・地域等との連携の推進
- 家庭教育の支援、地域における学習活動への支援

第3次

福岡市教育振興基本計画

概要版



お問合せ先 (計画の詳しい内容は、教育委員会ホームページにて公開しています)

福岡市教育委員会総務部教育政策課 令和7年6月

〒810-8621 福岡市中央区天神1丁目8番1号

電話/092-711-4412 E-mail/kyoikuseisaku.BES@city.fukuoka.lg.jp

HP/https://www.city.fukuoka.lg.jp/kyoiku-iinkai/k-seisaku/ed/new-plan.html

福岡市教育委員会

福岡市教育振興基本計画とは

- 概要** 子どもたちへの教育を一層充実していくため、これからの福岡市の教育が進むべき方向性を示すもの
- 範囲** 市立学校(小学校・中学校・特別支援学校・高等学校)における取組みを中心とし、家庭・地域等の取組みも含めた、教育に関わる分野
- 期間** 令和7(2025)年度から令和11(2029)年度の5年間

計画の全体像

目指す人間像(こんな人になってほしい)

「自分の可能性を信じ、様々な変化や困難に主体的に向き合い、他者と力を合わせ、豊かな人生やよりよい社会を切り拓く人」

身に付けてほしい力

自ら学ぶ力

- 問いや目標を持ち、解決の見通しを持っている
- 学ぶ環境(人・空間・時間)を選択・決定し、進んで追究している
- 学んだことを振り返り、新たな学びへの意欲を持っている

他者と協働する力

- 地域社会の一員としての自覚を持ち、多様な人と関わっている
- 自分を知るとともに、異なる他者を知り、尊重している
- 異なる意見がある中で合意形成を図り、納得解を得ることができる

未来をつくる力

- 様々な学びや経験を通して、なりたい自分を思い描いている
- 身の回りや社会における変化や困難を自分事として前向きに受け止めている
- 失敗を恐れずに、新しいことに挑戦している

基本方針(大切にしていくこと)

子どもを主体とした学びの推進

受動的な学びから、自律的な学びへの転換。教員は学びを支える伴走者として、学びに必要な人や空間・時間などを調整

多様な教育ニーズへの対応

特別な支援を必要とする児童生徒や不登校児童生徒など、多様なニーズを有する児童生徒に対する個々の状況に応じた適切な支援

教員の資質・意欲の向上

資質と意欲のある教員が心身ともに充実し、自己を高めながら、生き生きと子どもたちと接することができるよう、優れた人材の採用や資質・能力の向上、学校における働き方改革の推進や処遇改善の実施

安全・安心な教育環境の整備

安全・安心を確保しつつ、新しい時代の学びを実現する場となるよう、教育環境の向上を推進

地域連携の推進・家庭教育の支援

家庭や地域等との連携・協働や、地域・社会の多様な人材等の活用による学校教育活動の充実、地域や家庭における教育の支援

施策

- 1 確かな学力の育成
- 2 豊かな心の育成
- 3 健やかな体の育成

- 4 多様な教育ニーズへの対応と社会的包摂

- 5 教員の確保及び資質・能力の向上
- 6 教員が子どもと向き合い、チームとして対応できる環境づくり

- 7 安全・安心に学ぶことができる環境の整備

- 8 学校と家庭・地域等の連携強化及び家庭・地域等における教育の支援

計画推進にあたっての共通の視点

- Well-being(ウェルビーイング) …………… 子どもの権利が尊重され、子どものWell-beingを向上させるという視点を常に意識しながら施策・事業を推進します。また、子どものWell-beingを高めるためには、教員のWell-beingを確保することが必要です。
- DX(デジタルトランスフォーメーション) …………… 教育の質の向上や困難を抱える子どもの支援、教員の負担軽減など様々な場面において、デジタル化することでよりよい効果や新しい価値を見出すことができないかを意識しながら施策・事業を推進します。